

屋久島町社協だより

第16号

発行日 令和元年8月1日

編集発行 社会福祉法人

屋久島町社会福祉協議会

本所：宮之浦 縄文の苑 42-2711

支所：尾之間 こまどり館 47-3232

生活支援コーディネーターが 「ささえあいの地域づくり」を応援します

生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域で行われている高齢者の支え合い活動を他の地区に紹介したり、新たな生活支援サービスの開発を進めるなど、地域の支え合い活動の推進役を担います。地域の課題や求められている支援の聞き取りをしながら、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる町を目指します。

一湊区で困りごとについての話し合い（ワークショップ）を実施しました。その後、高齢者などが気軽に通えるサロンを立ち上げることになりました。



高平区で支え合いマップづくりを実施しました。家にいる時は黄色い旗を立ててもらうようにして、ひとり暮らし高齢者の見守り活動を続けています。

サロンで楽しめるゲームも貸出中

- ㊦スマイルシャッフルボード…円盤を棒で押して的まで滑らせてカーリングのように遊べます
- ㊦ターゲットプレイシート …お手玉のような小袋を的（シート）に投げて得点を競います

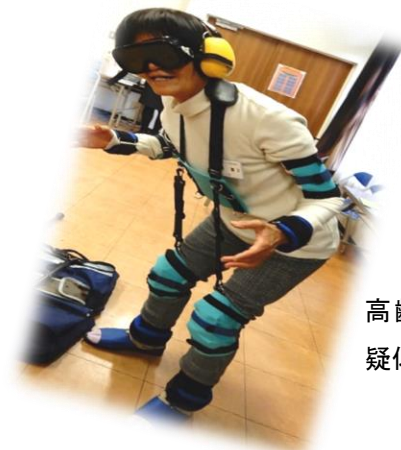


ご相談・お問い合わせは、社協 小笠原のぞみ（北部コーディネーター）・宮崎浩樹（南部コーディネーター）までお気軽にどうぞ。町全体のコーディネーターの山岡久江さんや役場健康長寿課の職員と一緒に話しをお伺いします。

地域ボランティア養成講座を開催



座学も熱心に取り組みました



高齢者の体を疑似体験！

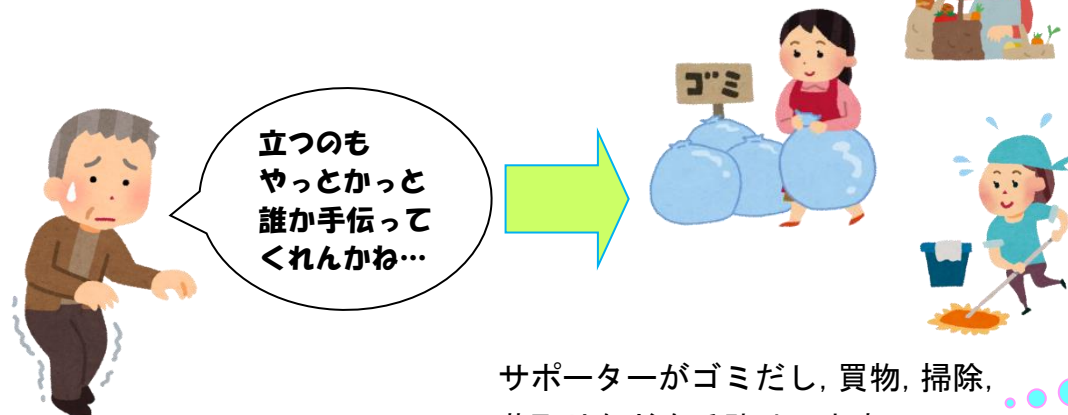


介護予防体操で頭をリフレッシュ

平成31年3月14日に、第5回地域ボランティア養成講座を開催しました。19名の方に参加していただきました。今後『屋久島愛らんどネット』サポーターや、各地区のサロン・介護予防教室でご活躍頂ければと思います。ありがとうございました。

住民同士がたすけ合う仕組み 屋久島愛らんどネット

屋久島町社会福祉協議会では、高齢者や障がい者の生活上のお困りごとを地域のサポーターが手助けする有償ボランティアのしくみ『屋久島愛らんどネット』を実施しています。



サポーターがゴミだし、買物、掃除、草取りなどを手助けします！

まずは社協にご相談を！

養成講座終了後
愛らんどネットで
サポーター活動



子育て真っ最中のパパ・ママ。おじいちゃん・おばあちゃんも社協でいっしょに遊びませんか！

優しい民生委員さんもお手伝いに来てくださいます♪

ボランティアさんも募集中♪



【むじょか】縄文の苑 第3木曜日
【こまどり】こまどり館 第3火曜日
(8月は最終週の木曜日・火曜日)
開放時間：10:00～11:30
利用料：50円(保険料含む)

【ふれあい広場】憩いの森または縄文の苑
第1木曜日 10:00～11:30
利用料：無料
ご不明な点はお気軽にお尋ねください

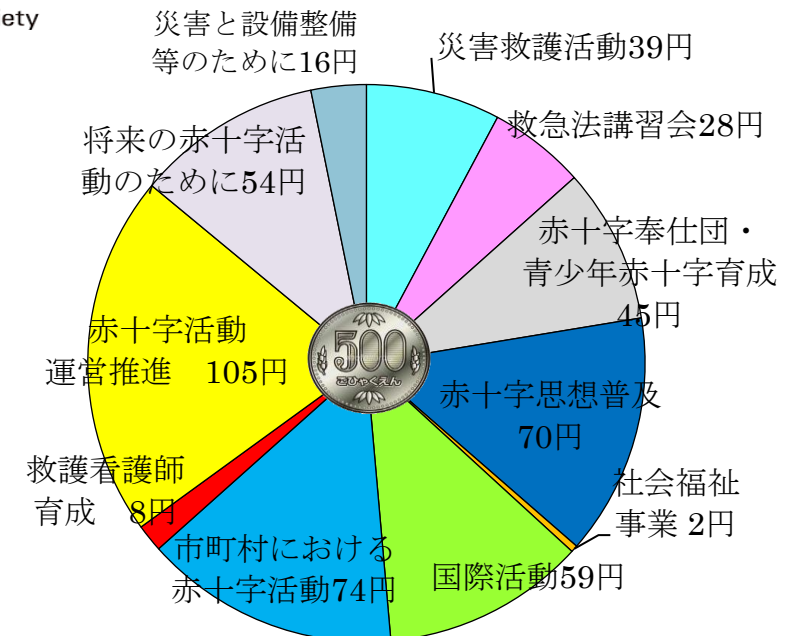
日本赤十字社 Japanese Red Cross Society

日本赤十字社の活動は、皆さまから寄せられる活動資金によって支えられており、屋久島町でも災害救援物資をお届けする等その一部が使われております。

町民の皆様には、1世帯500円を日本赤十字社の活動資金としてご協力をお願いしており、その使いみちをお知らせいたします。



日本赤十字社の活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます



救援物資を配布

5月18日の大雨の際には、土砂崩れ等の影響で300数名の登山客が一時孤立するという被害が発生しました。雨に濡れたまま十数時間を過ごされた方がいるとの連絡を受け、日本赤十字社では、救援物資の毛布とタオルケットを、翌日下山された登山客の方にお配りいたしました。毛布をかぶって暖を取られる様子がみられ、「毛布がとてもありがたかった」という声をいただきました。

なお、使用した毛布は、今後公民館などが避難所になった際に活用できるように、希望のあった地区にお配りいたしました。

町民の皆様から毎年ご協力頂いている日赤会費により、この度の支援が出来ましたこと、ご報告とともに改めて御礼申し上げます。



区長さんに毛布を贈呈

会 長 挨拶

町民の皆様には社協活動の礎となる、運営（会費）と地域支援（ボランティア活動等）の両面からご理解ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。又、各集落の役職員の方々のご理解とご協力を頂きながら、推進しています共同募金活動・日本赤十字社活動に対しましてもご協力を頂き感謝しております。

社会福祉協議会は、地域を基盤とする活動を行い、高齢者のみならず、生活上の困難を抱える障がい者や次世代を生きる子どもたちが、地域に於いて心豊かに自立した生活を送ることができるよう、関係機関と協働しながら相談業務等を通じて支援していく組織です。

今回、屋久島町社会福祉協議会の運営の一端を司ることになりましたが、四方八方が見通せるよう日々精進していきたいと存じます。今後とも社会福祉協議会活動へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

会長 局 富美男

平成 30 年度 決算報告（資金収支計算書） [単位：円]

会費収入	2,046,400
寄附金収入	1,851,000
経常経費補助金収入	15,055,000
共同募金配分金収入	1,141,525
受託金収入・事業収入	9,336,500
介護保険事業収入	187,292,230
障害福祉サービス等事業収入	1,997,430
受取利息配当金収入・その他収入	592,762
事業活動収入計 ①	219,312,847
人件費支出	162,971,884
事業費支出	34,376,853
事務費支出	17,086,557
共同募金配分金事業費支出	1,010,039
負担金支出	90,500
事業活動支出計 ②	215,535,833
事業活動資金収支差額 ③ (①-②)	3,777,014
施設整備等資金収支差額 ④ (車両等の購入)	△ 2,933,630
その他の活動資金収支差額 ⑤ (定期預金取崩他)	2,945,000
当期資金収支差額合計 ③+④+⑤	3,788,384

役員紹介

会長	局 富美男
副会長	日高 光明
理事	泊 圭一郎 山崎 奈美子 楯 篤雄 仲 福美 井手 信博 寺田 和寿 日高 典孝
監事	日高 正秀 田中 一巳

6月17日に理事・監事の改選がありました。今後ともよろしく願います。

社会福祉協議会からのお知らせ

☆町民の皆さまを対象に、車椅子の貸し出しをしています。貸出期間は1週間程度としておりますが、病院受診などで急に必要になった時などにご相談ください。

☆町内の児童・生徒の皆さんを対象に、夏休み期間中「サマーボランティア体験」を実施しています。デイサービスで、レクリエーション補助などのボランティアをしてみませんか。

☆町内の小中学校を対象に、高齢者疑似体験セットや車椅子などを使用した「福祉出前講座」を行っています。平成30年度は4校で実施しました。

詳しくは屋久島町社会福祉協議会（Tel 42-2711・47-3232）へお問い合わせください
ホームページにも、子育てサロンやボランティア講座など最新情報を掲載しています

ホームページアドレス ⇒ <http://yakushima-shakyo.jp/>